



父の七回忌と年ひく

父の七回忌と年ひく  
 思ひ出すや七年後乃を我れ高あ 拙月  
 けい

前出略

を我れ毎のまゝこも今我れ七回忌 妾搥  
 妻而やつ日の日こも志ある独 如州  
 行てり赤色をぬくむ一日うら 阜鳩

父病中よるよ思ふか言ふも  
 梅れかゆりうなこりうるをぬく  
 予におすすくはまはせうあまは

又の世よりかろぬ梅のあかりは 粗月

